

2024年8月2日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

Globe Fintech Innovations 社への出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、フィリピン共和国でデジタル金融サービスを提供する Globe Fintech Innovations, Inc.（以下、Mynt 社）への 393 百万米ドル（約 633 億円）の出資（以下、本出資）を決定いたしました。

MUFG が第二のマザーマーケットと位置づけるアジアでは、テクノロジーを駆使したデジタル金融サービス事業者が、これまで伝統的商業銀行がサービスを提供できなかったコンシューマー、SME の Underbanked・Unbanked 層[1]へ金融サービスを提供する潮流が加速しています。MUFG は同領域の成長を取り込むために、2020 年の Grab から始まり、2022 年 11 月の Home Credit、同年 12 月の Akulaku への出資、2023 年 1 月の Garuda Fund の設立、同年 4 月の DMI Finance への出資、2024 年 6 月の Ascend Money への出資など戦略的な投資を継続的に行ってまいりました。また、MUFG が出資する企業間の知見共有、バリューアップ活動を目的としたデジタルエコシステム形成の取り組み「MODE」[2]も開始しています。

フィリピンは銀行口座保有率が低く、伝統的な金融サービスが十分に行き届いていない Underbanked・Unbanked 層が存在する一方で、携帯電話やインターネット普及率が高く、デジタル金融サービスが発展する素地がある国です。Mynt 社は、同国最大級の財閥である Ayala グループおよび同国最大の携帯電話キャリア Globe 社傘下で、E-Wallet「GCash」ブランドを運営する、デジタル金融におけるリーディングカンパニーです。同社はフィリピンの金融包摂の実現を重要な経営理念に位置付けており、同国では 10 人に 8 人が当社サービスを利用したことがあるなど、人々の日常生活の決済、送金等に必要不可欠な決済インフラとして浸透しています。また、E-Wallet 事業で得たデータを活用しデジタルレンディング事業を拡大しています。

本出資は、フィリピンの最大のペイメントプラットフォーマーかつデジタルレンダーへの投資を通じた同国のデジタル金融の成長の取り込みを目的とした戦略的出資です。オンライン、オフラインの多様なユースケースを通じて消費者の日常生活に広く浸透した同社への出資により、Underbanked・Unbanked 層を含む広範な顧客基盤への接点を実現すると共に、更なる同国の金融包摂に貢献してまいります。また、同社を MUFG のデジタルエコシステムの新たな中核企業として迎えることで、デジタル技術に係る知見蓄積を進め「MODE」を一段と深化すると共に、Mynt 社を始めとする Ayala グループと、MUFG グループにおける事業協働の機会も追求してまいります。

本年 6 月のタイの Ascend Money に続く、フィリピンにおけるデジタル金融のトッププレイヤーへの戦略出資を通じて、より一層アジアにおける MUFG のプラットフォームを強固にすると共に、中長期的な MUFG のフランチャイズバリューの拡大に取り組んでまいります。

《Mynt 社の概要》

Mynt 社は、フィリピンで初の企業評価額 50 億米ドル規模のユニコーン企業[3]です。同社はフィリピンの金融包摂を重要な経営理念として掲げており、テクノロジーを活用したモバイル決済等のデジタル金融のリーディングカンパニーです。Mynt はその傘下に、同国最大の金融スーパーアプリであり E-Wallet である GCash を提供する GXI 社と、マイクロローンやビジネスローン等のコンシューマファイナンスを提供する Fuse Lending の 2 社のフィンテック企業を運営しています。

[1] 銀行のサービスを受けられない方々

[2] MUFG Openly-connected Digital Ecosystem

[3] 企業評価額 10 億米ドル超のスタートアップ

以 上